エコアクション21
経営環境レポート

活動期間（2022年9月　～　2023年8月）

発行日　2023年12月20日

KUMASAN

熊本酸素株式会社

熊本酸素株式会社

＜＜ 目　次 ＞＞

1、組織概要	・・・	3
2、環境経営理念・環境経営方針	・・・	4
3、エコアクション21組織図	・・・	5
4、　〃　（組織役割）	・・・	6
5、環境経営目標 （中・長期目標）	・・・	7
6、環境経営活動の具体的取組み	・・・	8
7、環境経営活動計画の取組結果と評価（電力）	・・・	9
8、　〃　（自動車）	・・・	10
9、　〃　（廃棄物）	・・・	11
10、　〃　（水道水・グリーン購入	・・・	12
11、化学物質・ユーザーへのサービス	・・・	13
12、環境経営目標の取組実績の評価（フロン）	・・・	14
13、　〃　（LPガス）	・・・	15
14、　〃　（太陽光）	・・・	16
16、環境経営目標の取組実績の評価環境配慮	・・・	17
17、環境経営関連法規遵守・違反	・・・	18
18、全体評価	・・・	19
19、代表者による全体評価と見直しの結果	・・・	20
20、環境経営活動紹介 （本社）	・・・	21
〃　（大分）	・・・	22
〃　（有明）	・・・	23
〃　（久留米）	・・・	24
〃　（福岡）	・・・	25
防災・避難訓練等実施（1-3）	・・・	26

熊本酸素株式会社

1、組織概要

1）会社名及び代表者名

熊本酸素株式会社
代表取締役社長　白瀬嗣久

2）所在地・認証範囲

本社	〒 861-5522	熊本県熊本市北区下硯川町2205番地
有明営業所	〒 869-0105	熊本県玉名郡長洲町清源寺1191
久留米営業所	〒 839-0809	福岡県久留米市東合川6丁目1番3
大分事業所	〒 870-0319	大分県大分市大分流通業務団地2丁目5-4
福岡営業所	〒 812-0893	福岡県福岡市博多区那珂五丁目3番30号
熊本東営業所	〒 861-8044	熊本県熊本市東区神園2丁目3-30

3）環境経営管理責任者及び事務局担当者連絡先

環境経営管理責任者 執行役員　佐藤光秀

事務局　総務課　山口　宏明　info@kumasan.co.jp
総務課　工藤　智子

連絡先　TEL　096-355-3321　FAX　096-326-3160
URL　http://kumasan.co.jp

4）事業内容

本社・有明営業所・久留米営業所・大分事業所：　機械・工具・溶材販売
高圧ガス供給及び関連設備設計施工他
テクノ総合ガスセンター　：　各種高圧ガス製造販売

5）事業規模

資本金　20,000,000円

社員数　200名

延べ床面積　3,941.9　m2

	本社	有明営業所	久留米営業所	大分事業所	福岡営業所	熊本東営業所
人数	150 名	10 名	9 名	13 名	7 名	11 名
床面積	1,643 m2	144 m2	328.9 m2	646.5 m2	293.8 m2	885.7 m2

熊本酸素株式会社　環境経営理念　環境経営方針

＜環境経営理念＞

熊本酸素株式会社は、環境保全を経営の最重要課題のひとつとして位置づけ、

企業活動のあらゆる面で環境保全と調和に配慮して行動します。

＜環境経営方針＞

当社はこの方針に基づいて、環境保全活動を推進します。

1. 法規制の遵守

環境関連の法規、規制及び協定を遵守すると共に、社内規定によりこれを管理する。

2. 省エネルギ―・省資源の推進

社員の環境に対する意識向上を図り、資源の3R（Reduce、Reuse、Recycle）を促進して資源やエネルギー・水・化学物資の使用量節減に会社で取り組む。

3. 環境汚染防止と環境改善の継続

自社の企業活動の過程で発生する汚染の予防、低減に積極的に取り組む。
併せて、廃棄物の削減と適切な処理及び化学物質の適切な管理に努めて継続的な改善を推進する。

4. 資源の再利用の推進

社内での購入物にはリサイクル商品を積極的に購入すると共に当社の製品・ｻｰﾋﾞｽの環境配慮を通じて循環型社会に貢献する。

5.環境配慮型の製品・サービスを積極的に提供

6. 方針の開示

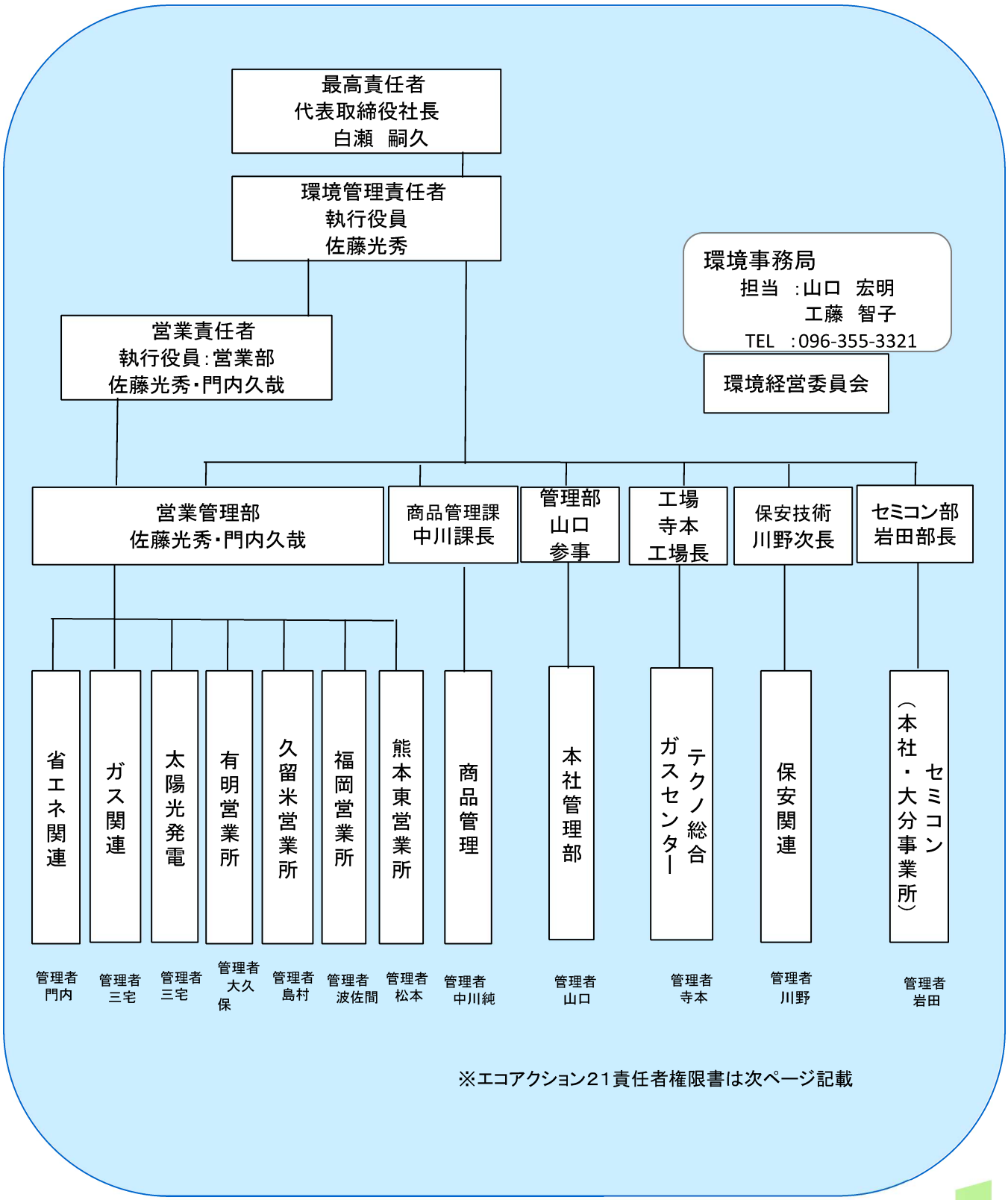
本方針は、全社員に周知徹底するとともに、社外にも公開する。

2011年9月20日改訂
2015年9月1日改訂
2020年9月1日改訂

熊本酸素株式会社
代表取締役　社長　　白瀬嗣久

熊本酸素株式会社

3、エコアクション21組織図



熊本酸素株式会社

4、　エコアクション21組織（責任権限表）

最高責任者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの構築/実施/管理に必要な資源（人/資金等）の準備 ・環境経営管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定/見直し、必要であれば改訂を実施 ・環境目標/環境経営活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営活動レポートの承認
環境経営管理者	・環境経営システムの構築/実施/管理 ・環境経営関連法規の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標/環境活動計画書を確認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営活動レポートの確認
環境経営事務局	・環境経営管理責任者の補佐 ・環境経営負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標/環境活動計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境経営関連法規等取りまとめ表の作成/遵守評価の実施 ・環境経営関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営活動のレポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境委員	・環境経営管理責任者の補佐補佐 ・各環境経営目標に実施計画の立案/通達の実施 ・環境経営目標/環境経営活動計画書を確認
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応の為の手順書作成 ・自部門の問題点の発見/是正/予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的/積極的に環境活動への参加

環境経営委員について

環境経営委員とは、エコアクション21を実施する上で各環境目標に対する実施計画の立案などを行うとともに各部署への通達を行う。

	担　当　責　任　者						
各環境経営委員	本社（正）	本社（副）	有明（営）	久留米（営）	大分（事）	福岡（営）	熊本東（営）
電気使用の削減委員	浮穴	工藤	大久保	島村	宮成	山田	下城
自動車燃料の削減委員	宮川	中山	坪井	松本浩	岩田	那須	田中(就)
一般廃棄物の削減委員	佐藤	坂口（久）	米村	原	永井	山田	中村(健)
産業廃棄物の削減委員	中川（純）	野満	米村	原	永井	山田	中村(健)
水道水の削減委員	三宅	寺本	吉田	永井	平林	山田	下城
グリーン購入委員	工藤	上村	田上	永井	五十川	山田	下城
営業所（上記全体責任者）			大久保	島村		波佐間	松本

5、環境経営目標

5-1中・長期環境経営目標（年度目標）

		単位	2022/9-2023/8	2023/9-2024/8	2024/9-2025/8	2025/9-2026/8
			2021年度	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標
			（実績）	前年対比△1%	前年対比△1%	前年対比△1%
電気の削減	－	kWh	417,244	413,071	408,940	404,850
	－	kg-CO2	144,784	143,336	141,902	140,483
自動車燃料の削減	（ガソリン）	L	139,268	137,875	136,496	135,131
	（軽油）	L	103,324	102,290	101,267	100,254
	－	kg-CO2	589,678	583,781	577,943	572,164
可燃性ごみの削減	－	袋	12,330	12,207	12,085	11,964
水道水の削減	－	m3	2,388	2,364	2,340	2,317
グリーン購入	－		38.7%	1%向上	1%向上	1%向上
化学物資の適切管理	－	－	－	法規の遵守・管理徹底		
ユーザーへのサービス	－	－	－	販売した商品の適切な使用方法の啓発の実施		

（注記）電気のCO2排出係数は、平成24年度九州電力実排出係数0.347を使用しました。

５－２　2018度環境経営目標の取組実績

活動期間（2022/9～2023/8）

		単位	目標	実績	達成率	評価
電気の削減	－	kWh	413,071	431,088	96%	△
	－	kg-CO2	143,336	149,588	96%	△
自動車燃料の削減	（ガソリン）	L	137,875	149,620	92%	△
	（軽油）	L	102,290	116,926	87%	△
	－	kg-CO2	583,781	599,108	97%	△
可燃性ごみの削減	－	袋	12,207	9,872	124%	△
水道水の削減	－	m3	2,254	2,221	101%	△
グリーン購入	－		67.6%	38.0%	56%	×
化学物資の適切管理	－	－	法規の遵守・管理徹底	法規の遵守・管理徹底した。	100%	○
ユーザーへのサービス	－	－	販売した商品の適切な使用方法の啓発の実施	販売した商品の適切な使用方法の啓発の実施した。	100%	○

※100%以上＝○　80%＞100%＝△　80%未満＝×

6-1、　環境経営活動の具体的取 ※環境委員が設定

■ 電力による二酸化炭素排出量の削減	本社	有明	久留米	大分	福岡
・パソコンの電源、外出時はOFF、昼休みは省エネモード	○	○	○	○	○
・不必要な場所の蛍光灯は外す	○	○	○	○	○
・残業時の縮小、特に12月～1月/7月～8月	△	△	△	△	△
・外出時不要な場所の消灯の徹底	○	○	○	○	○
・夜間不必要な場所のブレーカー切断	○	○	○	○	○
■ 自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減					
・ 積載物を減らし燃費向上に努める	○	○	○	○	○
・ 車輌点検時に責任者による確認を徹底する	○	○	○	○	○
・ さらなるエコドライブを啓発・実行する	○	○	○	○	○
・ 急加速/急停車の防止	○	○	○	○	○
・ 冷房の控え目使用	○	○	○	○	○
・ 燃費の良い車の購入（更新時）	△	△	△	△	△
■ 一般廃棄物の削減					
・ 分別ボックスの設置	○	○	○	○	○
・ 裏紙活用の継続	○	○	○	○	○
・ スキャナー/ドキュワークスの活用でペーパーレス化	○	○	○	○	○
・ 梱包材の再利用	○	○	○	○	○
■ 産業廃棄物（廃プラ）の削減					
・ 会社別の廃棄物回収に変更	○	○	○	○	○
・ ゴミ分別の徹底	○	○	○	○	○
■ 水道水の削減					
・ 節水シールの張付けとポスター掲示	○	○	○	○	○
・ 節水弁取付け	－	－	－	－	－
・ 自動水栓取付け	－	－	－	－	－
■ グリーン購入					
・ グリーン購入対象品目調査	○	○	○	○	○
・ グリーン購入比率調査	○	○	○	○	○
■ 化学物資の適切な管理：					
・ 法規の遵守	○	－	－	－	－
・ 管理徹底	○	－	－	－	－
■ ユーザーへのサービス					
・ 販売した商品の適切な使用方法の啓発の実施	△	△	△	△	△

7-1、環境経営目標の取組実績の評価 （電力の削減）

活動期間（2022/9～2023/8）

			目標		達成率
熊本酸素全体	kWh	－	413,072	431,088	96%
	kg-CO2	－	252,800	149,588	169%
本社	kWh	－	288,928	288,012	100%
	kg-CO2	－	100,258	46,658	215%
有明営業所	kWh	－	11,186	10,625	105%
	kg-CO2	－	3,882	1,721	226%
久留米営業所	kWh	－	15,686	16,600	94%
	kg-CO2	－	5,443	2,689	202%
大分事業所	kWh	－	65,408	68,354	96%
	kg-CO2	－	22,697	11,073	205%
福岡営業所	kWh	－	29,382	28,898	102%
	kg-CO2	－	10,196	4,681	218%
熊本東営業所	kWh	－	2,482	18,599	13%
	kg-CO2	－	861	3,013	29%

達成状況/原因又は要因	評価/指示
✓会社の電力使用量は目標に対して96%でほぼ達成。 本社はコロナ禍により、換気を例年より多く取り入れエアコンの稼働が増えたのが大きな要因だと考えます。	✓全社員が空気の換気をしながら電気量の節約に対して削減意識をもって取り組んだ結果です。
✔有明（営）と久留米（営）も本社と同様に考えられます。東営業所は今期からの実績が元になると思われます。	✔営業所も本社と同じように努力指示

熊本酸素株式会社

7-2、環境経営目標の取組実績の評価（自動車燃料の削減）

活動期間（2022/9～2023/8）

	分類		目標	実績	達成率
熊本酸素全体	ガソリン	L	137,875	149,620	92%
	軽油	L	107,317	116,929	92%
	合計	kg-CO2	601,735	654,228	92%
本社	ガソリン	L	99,722	106,896	93%
	軽油	L	77,497	62,942	123%
	合計	kg-CO2	434,899	413,357	105%
有明営業所	ガソリン	L	11,257	11,921	94%
	軽油	L	5,288	6,349	83%
	合計	kg-CO2	40,012	44,338	90%
久留米営業所	ガソリン	L	14,099	14,860	95%
	軽油	L	3,243	3,563	91%
	合計	kg-CO2	41,244	43,850	94%
大分事業所（セミコン含む）	ガソリン	L	12,746	15,642	81%
	軽油	L	2,960	3,690	80%
	合計	kg-CO2	37,360	45,999	81%
福岡営業所	ガソリン	L	51	301	17%
	軽油	L	18,329	21,400	86%
	合計	kg-CO2	48,220	56,860	85%
福岡営業所	ガソリン	L		0	#DIV/0!
	軽油	L		18,985	0%
	合計	kg-CO2	0	49,823	0%

達成状況/原因又は要因	評価/指示
✓ガソリン・軽油全体で100%には及ばないが、ほぼ達成。（営業活動に対して）	✓これからも燃料の削減は、営業活動と相反するところがあるが、継続して工夫し継続し努力している。
✔社員の削減意識が向上している。 ✔前回と同じく営業活動で車の使用頻度が増加したことが考えられる	✔今後も継続し、無理なく削減に努めていく事 ✔同じく今後も燃料値上げの時期も考えて、値上げ前に給油する。

7-3、環境経営目標の取組実績の評価 （可燃性ごみの削減）

活動期間（2022/9～2023/8）

	単位		目標	実績	達成率
熊本酸素全体	袋	－	12,207	9,872	124%
本社	袋	－	10,435	8,348	125%
有明営業所	袋	－	0	0	―
久留米営業所	袋	－	304	364	84%
大分事業所	袋	－	1,271	956	133%
福岡営業所	袋	－	197	204	97%
熊本東営業所	袋	－	0	0	#DIV/0!

達成状況/原因又は要因	評価/指示
✓全体では。達成率が124%で達成 ✔今回も販売商品の箱の段ボールが多かった。	✓今後もユーザーとの取組みは効果的で継続する。 ✓これからも継続して経緯をみていく。
✔今回もユーザーのリサイクルの協力により昨年同様、持ち帰りが減少している。 久留米(営)及び　✔福岡(営)が未達成	✓循環型資源活用を今後更に推進していく。 ✔ユーザーより処理して頂くよう今後も呼びかける、久留米・福岡(営)強化指導

熊本酸素株式会社

7-5、環境経営目標の取組実績の評価 （水道水の削減）

活動期間（2022/9～2023/8）

	単位		目標	実績	達成率
熊本酸素全体	m3	－	2,364	2,221	106%
本社	m3	－	2,036	1,896	107%
有明営業所	m3	－	26	28	93%
久留米営業所	m3	－	63	72	88%
大分事業所	m3	－	94	83	113%
福岡営業所	m3	－	136	117	116%
熊本東営業所	m3	－	9	25	36%

達成状況/原因又は要因	評価/指示
✓全体では、達成率が106%で達成。	✔節水意識が、全体に定着している。
✔営業所については、元々全体量が少ない為必要以上には使用していない　東営業所は稼働前の事前使用	✓各自の節水意識を維持し徹底する。

7-6、環境経営目標の取組実績の評価 （ｸﾞﾘｰﾝ購入）

活動期間（2022/9～2023/8）

	単位		目標	実績	達成率
熊本酸素全体	%	－	60.0%	36.1%	

達成状況/原因又は要因	評価/指示
✓目標　36.1%以上は未達成	✓ｸﾞﾘｰﾝ製品を意識して選択購入している事は概ね良かったが達成していない。
✔社員の意識は向上している。	✓引き続きｸﾞﾘｰﾝ購入を推進していく。

7-7、環境経営目標の取組実績の評価 （化学物資の適切な管理）

活動期間（2022/9～2023/8）

			目標	実績	達成率
熊本酸素全体	－	－	法規の遵守・管理徹底	法規の遵守・管理が徹底できた。	100%

達成状況/原因又は要因	評価/指示
✔法規の遵守・管理徹底達成出来た。	✔法規の遵守・管理徹底達成出来ている。
✔社員への周知が徹底した。	✔法規の遵守・管理徹底を維持していく。

7-8、環境経営目標の取組実績の評価 （ユーザーへのサービス）

活動期間（2022/9～2023/8）

			目標	実績	達成率
熊本酸素全体	－	－	販売した商品の適切な使用方法の啓発の実施	適切な使用方法の啓発が実施できた。	100%

達成状況/原因又は要因	評価/指示
✔販売した商品の適切な使用方法の啓発が実施出来た。	✔販売した商品の適切な使用方法の啓発が実施出来た。
✔社員への周知が徹底いる。	✔部門ごとにユーザーに対して、適切な環境活動を維持していく。

7-9、 環境経営目標の取組実績の評価

【フロン回収事業】

単位:kg

期間			R4.9-R5.8		達成率%
	目標	実績	目標	実績	
破　壊			15,000	12,250	81
再　生			48,000	60,833	126

＜評価＞
目標に対して福岡のお客様が増えて再生数量がかなり増えたが破壊数量は伸びなかったので
来期は全体量を伸ばして、引き続き破壊数量は減らしていきたいと思っております。

＜今後の目標＞

単位:kg

期間	R5.9-R6.8	R6.9-R5.8	R7.9-R6.8
	目標	目標	目標
破　壊	12,000	11,000	10,000
再　生	70,000	75,000	80,000

＜目標・問題点等＞
お客様に営業をして、特に福岡のお客様から毎年合計数量が増えておりますので
今後も破壊数量は減って、再生数量が増える予定です。

7-10、環境経営目標の取組実績の評価

【 LPガスの燃転 】

単位 kg

期間			R4.9.-R5.8		達成率
	目標	実績	目標	実績	
LPG			100,000	19,273	19%

＜評価＞
LPG高騰により燃料転換が停滞しております。
今後も改善に努めます。

＜今後の目標＞

単位 kg

期間	R5.9.-R6.8	R7.9.-R8.8	R8.9.-R9.8
	目標	目標	目標
LPG	50,000	50,000	50,000

7-11.環境経営目標の取組実績の評価

【太陽光発電販売】

期間	R3.9-R4.8		R4.9-R5.8		達成率
	目標	実績	目標	実績	
販売台数	5	3	3	1	33%
kW	600	365	500	508	102%

※R3.9-R4.8実績
自家消費型1 件 （500kW）

自家消費型の大型太陽光受注

＜今後の目標＞

期間	R5.9.-R6.8	R6.9.-R7.8	R7.9.-R8.8
	目標	目標	目標
販売台数	1	1	1
kW	200	200	200

備考
＜問題点等＞
・脱炭素、電気代削減で今後も自家消費型を検討されるユーザーは増加傾向

7-12 環境経営目標の取組実績の評価
【環境配慮製品販売】
（スクリューコンプレッサ）

期間	R2.9.-R3.8		R3.9.-R4.8		R4.9.-R5.8		達成率
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
販売台数	27	19	20	14	15	31	207%
出力合計（kW）	1,000	460	500	329	400	842	211%
インバータ化比率	80	59	70	81	80	81	101%
（%）							

ユーザー様の省エネ意識と設備投資意欲の高まりもあり、前年度より実績増となった。

8、 環境経営関連法規等の遵守状況及び違反

法規制等の名称	該 当 す る 要 求 違 反	遵守評価
廃棄物処理法	・ 一般収集業者の許可確認	○
	・ 廃棄物収集・運搬、処理業者との契約と許可確認	○
	・ 保管基準	○
	60cm×60cm以上の表示	○
	飛散、浸透防止措置	○
	衛生管理	○
	・ マニュフェスト交付	○
	A、B2、D、E票の保管（5年間）	○
	D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内の知事への報告	○
	・ 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
フロン排出抑制法	・ フロン類の適切な処理/回収、破壊の工程確認	○
	・ 3ヶ月毎の簡易点検、3年に一度の定期検査	○
毒物及び劇物取締法	・ 劇物の販売の登録者は都道府県知事に申請書（6年ごとに更新）	○
	・ 営業所ごとに専任の劇物取扱責任者を都道府県知事に届け	○
高圧ガス保安法	・ 高圧ガスの消費は消費の場合、数量その他消費量の方法について技術上の基準に従う	○
消防法	・ プロパン貯蔵設備の届出	○
	・ 防火対象建築物の為、防火管理者を選任	○
道路交通法	・ 道路交通法の遵守	○
PRTR法	・ 対象物資の1t以上の届出	非該当
食品衛生法	・ 添加物製造業は営業許可を市に申請	○
薬事法	・ 医療用ガスとして製造業者の申請が必要	○
騒音規制法	・ 該当する要求事項は熊本市条例の届け出	○

遵守評価 ・・・ 確認した場合は判定欄に○×表示

遵守評価日 ： 2023年12月10日

評価：法規制違反は、なかった。住民からの苦情や訴訟はなかった。

各関連機関からの指摘指導はなかった。

9、 環境経営活動の全体評価及び次年度取組事項

久留米営業所	所長　島村	
	効　果	事務所・倉庫の拡張により使用量が増えたが、標準の数値を確定するには、パソコン・照明等のこまめな電源OFFにより削減、更なる省エネへの意識は高まった。
	改善要する事項	コピー用紙の削減、裏紙使用の徹底を進める
	次年度の取組事項	改善要する事項に対する取り組み 電気の消費を削減していく
福岡営業所	所長　波佐間	
	効　果	福岡営業所も拡張した為、電気量等使用量が増えた。
	改善要する事項	標準的な数値を再検討する。
	次年度の取組事項	電気の消費を削減していく
大分事業所	部長　　岩田	
	効　果	エコアクションへの自主的な取り組みが各社員に定着
	改善要する事項	目標の具体的な設定
	次年度の取組事項	エコアクションへの積極的な取組みの継続
有明営業所	所長　島村	
	効　果	コピー用紙の削減が出来た。
	改善要する事項	取り組みを継続していく
	次年度の取組事項	電気の消費を削減していく
本社	営業管理部：中村　保安部：川野　　工場長：寺本	
	効果	ユーザーへの産業廃棄物の適正処理呼掛けができた 産業廃棄物の適正な処理がかなり進んできた
	改善要する事項	産業廃棄物と有価資源の線引と理解
	次年度の取組事項	産業廃棄物の適正処理率100%
事務局総評	管理部：山口・工藤	
	本社及び各営業所（事業所）とも環境への意識が向上しています	
	常に改善に向けて再度、更なる取組みを推進していきます	

10、 代表者による全体評価と見直しの結果

新型コロナも5類へ移行し社員の交流も深まってまいりエコアクション21
への取り組みも各担当者集まっての意見交換ができるようになりました。
環境への取り組みにつきましては取引企業様からの問い合わせも増え
社員のエコアクション２１への意識・取り組みへの意識改革が高まって
まいりました。
策定した取り決めは、社会活動の一貫として遵守し環境への配慮を心がけて
行動していきます。

営業活動では環境に配慮した商品・サービスを提供し積極的に取り組んで
行きます。
環境経営方針、目標及び計画、実施体制は継続しさらなる向上を目指します。

令和5年12月20日
代表取締役社長　白瀬嗣久

熊本酸素株式会社

11、　環境経営活動取組と活動紹介

※前回と同じスタイル：本社：下記の位置にシールでも社員に提；本社

◆今回もステッカーの劣化もなく、再チェックしそのまま使用

◆各水道・電気スイッチ付近にも張替えし「節水・節電」を促す

◆コロナ消毒等、感染対策を行い、CO2測定器を各箇所に設置し喚起を徹底し、エアコン送風口にファンを取り付けて節電しながら

12-1 、環境経営活動取組と活動紹介

◆大分事業所の作業場ごみ捨て場と表示ステッカー

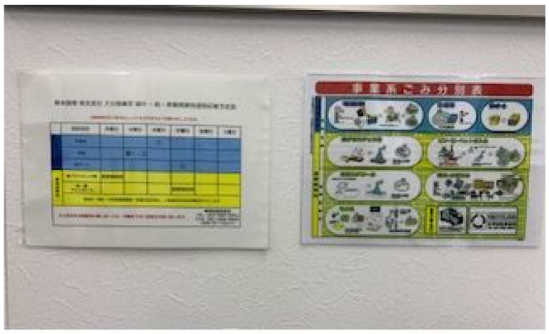
前回報告時とすべて変更なし ⇒ 継続中

事務所

資在庫（荷受け場）

一般加工室

※各ゴミ箱設置箇所に分別ポスター表示



外ゴミステーション

給湯室

事務所エアコン

◆節水・節電ステッカー表示問題無し

12-2　環境経営活動取組と活動紹介

■ 有明営業所　前回の設置（表示）を継続使用中　（劣化なし）

◆コピー用紙　（裏紙BOX・回収BOX）継続して使用中

◆倉庫内の回収BOX用継続使用中

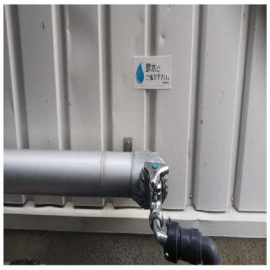
◆屋内外の水道：節水呼掛け

◆エアコンの設定温度も表示

◆電気スイッチに節電表記

12-2　環境経営活動取組と活動紹介

■久留米営業所 エアコン、給湯室へ節電、節水ステッカー表示　前回設置（表示）を継続使用中（劣化なし）



・コピー用紙回収BOXの設置　継続使用中
・給湯室（節水）・電気スイッチ（節電）シールをわかりやすく設置　継続使用中
・屋内内外の水道へ節水シール設置、節水呼び掛け

・可燃物、段ボール入れ金網BOXを設置　継続使用中
・自販機は設置して無いが、
・ビン・カン・ペットボトル回収BOXを設置して分別中

環境経営活動取組と活動紹介

■ 福岡営業所　前回の設置位置はそのまま使用中（劣化なし）

◇エアコンリモコン周辺◇

◇水道蛇口（節水シール）◇

◇電気スイッチ（節電シール）◇

◇コピー用紙BOX　（裏紙・回収）継続して使用中◇

◇可燃物目立つように設置◇

◇ビン・カン入れを設置して分別◇

13.環境経営活動取組と活動紹介（1）

令和5年　防災･避難訓練

本社ビル地震対応訓練･避難訓練

防火管理者	保安担当
確認 05/12/15 川野	馬場

令和5年12月15日

令和５年度　防災訓練　実施報告書

所　属　　保安部保安技術課
氏　名　　川野　雄作

日時	2023年12月8日金曜日
会社名	熊本酸素㈱・熊本医療ガス㈱・くまさんガス産業㈱・くまさんメディクス㈱
場　所	くまさん本社ビル・テクノ総合ガスセンター・物流センター
実施者	熊本酸素㈱保安部保安技術課

訓練名	令和５年度　くまさん本社ビル防災訓練（シェイクアウト訓練）
内容	①8時27分　シェイクアウト訓練の事前放送 ②8時30分　緊急地震警報を全館一斉放送　→　約1分間身を守る行動 ③8時31分　訓練終了のアナウンスを全館放送 ※詳細な進行については、別紙進行表にて
参加者	①熊本酸素㈱　社員105名 ②熊本医療ガス㈱　社員24名 ③くまさんガス産業㈱　社員17名 ④くまさんメディクス㈱　社員3名
まとめ	本年度は日本政府が推奨する「シェイクアウト訓練」を実施した。この訓練は自分で考え行動し対応することで、有事の際に最善の対応ができるようにトレーニングすることを目的としている。今回は初回であったが各人迅速で最適な対応ができたと感じた。
訓練詳細	※訓練詳細については、別紙添付

13.環境経営活動取組と活動紹介（1）

令和5年　防災･避難訓練予定

工場敷地内避難訓練

保安教育様式

防　災　訓　練　報　告　書

教育訓練実施年月日	2023年11月7日　16時30分～16時50分
教育訓練の名称	防災訓練
教育訓練担当者氏名	寺本修二
教育訓練実施場所	工場敷地内
教育訓練受講者名 （複数者名記載）	井上雅博 佐々木崇暢 反頭純一 佐方雄樹 田中将吾 野中柊弥 西坂凜 原田幸史郎

内　容　の　概　略:
訓練名【容器転倒事故及び事故処理訓練】
LGC容器運搬中に転倒した際のLGC起こし訓練。今回は中身無しなので重量は100kg程度。2名1組で起こす訓練を実施。充瓶を転倒させた場合は、3名以上で行うことを指導。

備　考:（教育内容、教材の改善等のコメントを含む）

教育訓練担当者:寺本修二	報告年月日:2023年11月7日

評　価:良

工場責任者:寺本修二	判定年月日:2023年11月7日

令和５年度　防災訓練　実施記録

熊本酸素　実施状況（本社ビル２階）

（訓練前）

（訓練中）

熊本医療ガス　実施状況（本社ビル１階）

（訓練前）

（訓練中）